

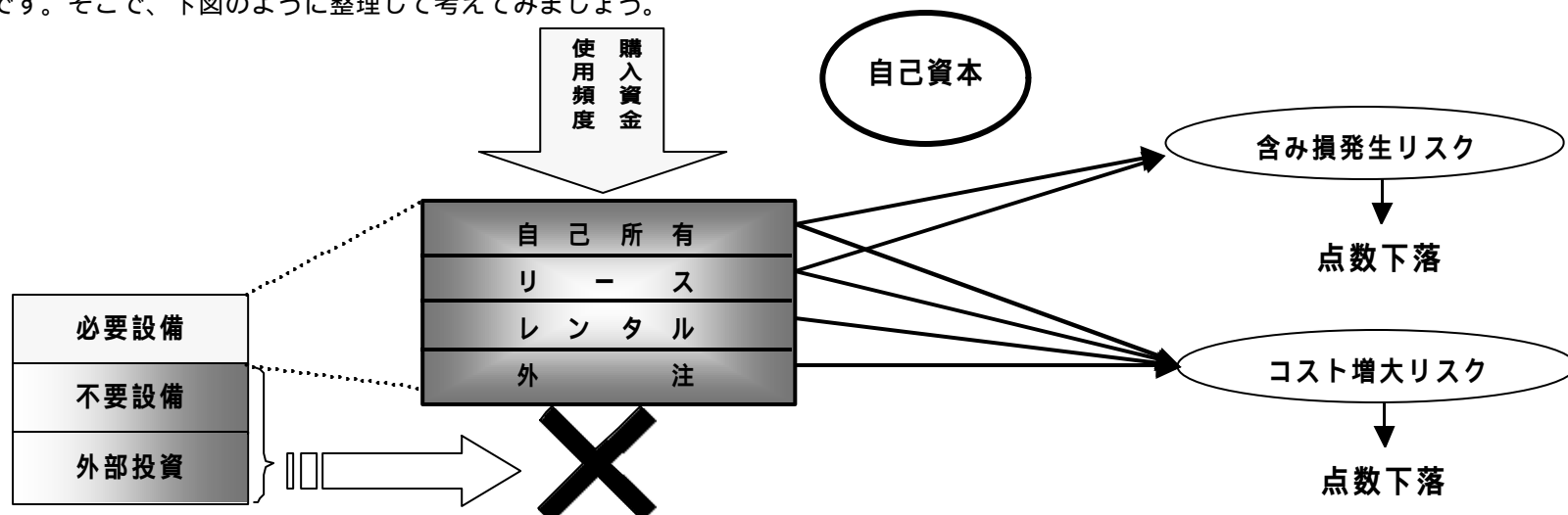
2003年も株式会社ワイズをどうぞよろしくお願ひいたします

送信枚数 1枚

< 固定資産取得の考え方 ~まとめ~ >

2002年10月号から固定資産について取り上げましたので、今回は、固定資産の取得についての考え方をまとめてみましょう。まず、経営者にとって大切なのは自社の自己資本の大きさを知ることです。自分の身の丈に合った投資をしようということです。そこで、身の丈にあった投資とは「経審」ではどのように考えているのでしょうか。自己資本対固定資産比率(X10)の最高点は529.3%ですから、たとえば、自己資本が1億円ならば、取得できる固定資産は18,892,877円です。10億円ならば、188,928,773円です。ずいぶん少ないように感じませんか。一方、平成14年9月現在公表されていたデータから当社が集計した自己資本対固定資産比率(X10)の平均値は、法人で、123.248% (190,597社)です。この数値からすると、自己資本が1億円ならば、固定資産は81,137,219円です。10億円ならば、811,372,192円です。この差を経営者としてどのように考えるかということです。

もちろん、経営者として「経審」も大切ですが、利益を上げることも大切です。会社を運営していく上で、機械設備はどうしても必要です。そこで、下図のように整理して考えてみましょう。



まず、外部への投資はしないことです。余裕資金の長期運用もやめましょう。次に、不要設備がないかよくチェックしましょう。固定資産 = 財産と考えてしまうと、固定資産 = 将来の費用と考えるよりも価格に対して甘くなったり、不要な機能を付加したりしがちです。また、経営者の趣味で購入する資産もあります。厳に慎みましょう。

次に、必要機械設備につき、どのように調達するか経営者の経営判断の必要な場面です。通常、使用頻度が低い機械はレンタルし、使用頻度の高い機械は購入又はリース(ファイナンスリース)にするでしょう。機械を保有している外注先を利用する場合もあります。「経審」では、固定資産を保有しない方が通常点数は高くなるのですが、使用頻度の高い機械のレンタルや外注ではコストが高くなって利益が減少し、結果として、点数が悪くなることも考えられます。リースも、通常、取得に比べコストが高くなります。一方、固定資産の取得は、デフレ経済下における価格下落による含み損の発生、収益性の低下による価値下落、技術革新による陳腐化などのリスクを抱えることとなります。リースも支払額が確定しているので、会計上貸借処理をしていても同様になります。なお、一旦、固定資産を取得した会社は、固定資産の減損損失を発生させると、自己資本の厚い会社でない限り、自己資本が減少し点数が下がるでしょう。

経営者として、「経審」に対応しながら、利益を獲得する判断に磨きをかけることが期待されています。

「経審」に対応した固定資産の保有の仕方については、[WiseFAXNET99.12号<固定資産の持ち方>](#)をご覧ください。

WISENET編集部 松村 清(税理士)

入札主観点数にISOが重要?! ワイズ調査の都道府県別対応状況を無料配布中!

ISO訪問デモ希望(無償)
 ISO資料請求(無償)
 送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
 今後「Wise FAXNET」送信不要
 今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望

デモ希望、資料請求、送信先宛名変更、送信停止は、必要事項をご記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
TEL	FAX
今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入ください。 e-mail	

「Wise FAXNET」は経審対策/書類作成システム「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号~)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードできます(1月号は2月3日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp>